

那珂市議会広報編集委員会
令和5年4月18日発行 No.77

議会だより

＊ 特 集 ＊

「議会だより」ができるまで

Contents (目次)

特集	2
令和5年度予算	4
議案等審議	6
臨時会	9
一般質問（質問者10名）	10
閉会中の議会活動	16
次回定例会の開会予定	18

STEP 1

打合せ



定例会開会前と、定例会閉会后すぐに広報編集委員会を開催。編集スケジュールの確認、紙面構成や表紙のデザインを検討し、各記事の原稿作成担当者を決めます。また、特集記事のテーマや内容なども企画します。

STEP 2

取材



身近なイベントなどに足を運び写真撮影をしたり、特集記事の取材では、インタビューや写真撮影、記録係など各委員の役割を分担して取材しています。

* 特 集 *

「議会だより」が できるまで

年4回の定例会ごとに発行している「議会だより」。議会活動や審議経過などの情報を市民の皆さまに分かりやすくお届けするため、また親しみのある議会だよりとなるよう、議論を重ねながら編集しています。

では、議会だよりはどのように編集されて皆さまのお手元に届いているのでしょうか？今回は、議会広報編集委員会が編集する議会だよりができるまでをご紹介します。

わたしたちが
広報編集委員です！



定例会閉会から
約1か月で発行！

STEP 5

完成



STEP 4

原稿確認

広報編集委員会でも
議会 ICT を推進しています！



誤字・脱字はもちろん、読者に分かりやすい文章・レイアウトになるよう全てのページを確認、意見を出し合い修正していきます。



オンライン会議でも
記事の内容を確認

STEP 3

原稿作成

表紙の写真を撮影中…



過去の議会だよりは市議会
HP で見ることができます



那珂市議会 HP

一般質問の原稿は登壇した議員が各自作成し、議案審議やその他の記事などは各担当委員が原稿を作成します。表紙を飾る写真の撮影も委員が行っています。裏面のまちかどニュースの写真は委員が撮影した写真の中から選定しています。

令和5年度のお金の使い方が決まりました

一般会計予算

226億2000万円

特別会計予算総額

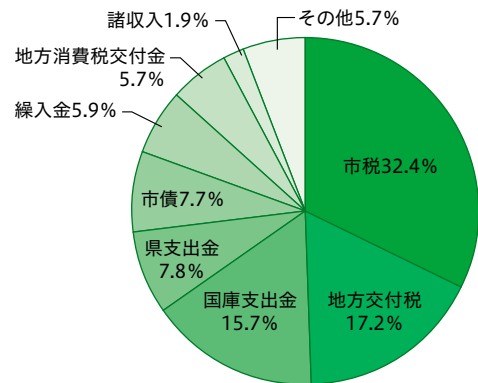
110億1370万円

市長から令和5年度の予算案が提出されました。予算の審議は、3月7日から9日の3日間にわたり、各常任委員会で行いました。その結果、全ての予算案が市長の提案どおり可決されました。

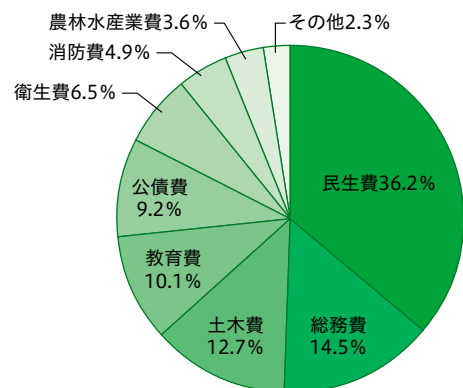
ここでは、今回決定した令和5年度のお金の使い方と、主な事業についてご紹介します。

会計別予算額

一般会計	
	226億2000万円
特別会計	
国民健康保険	54億円
公園墓地事業	1300万円
介護保険	47億5000万円
後期高齢者医療	8億5000万円
那珂地方公平委員会	70万円
水道事業会計	
収益的支出	11億9277万1000円
資本的支出	9億4457万3000円
下水道事業会計	
収益的支出	16億8659万7000円
資本的支出	17億6831万9000円



一般会計歳入



一般会計歳出



市地域脱炭素ビジョンの策定により、再生可能エネルギー導入に対する意識啓発を図り、産業育成、地域活性化等持続性のある地域振興に資するプロジェクトです。

再生可能エネルギー
導入調査事業
事業費
2500万円



D X推進事業
事業費
3021万4000円
情報通信技術（ICT）を活用して市民サービスの向上及び業務効率化を図ります。また、事業の推進にあたり、情報化統括責任者補佐官（CIO補佐官）として専門的な知見を持った外部人材を活用します。



国による「重層的支援体制整備事業」の創設に伴い、分野ごとに実施されていた支援事業の業務を一体的に行える体制を整備、高齢者の日常生活の支援体制の充実・強化を図ります。

高齢者日常生活支援等
推進事業
事業費
7158万1000円



木崎浄水場更新事業
事業費
4億4354万9000円
水道事業創設以来50年が経過しており、今後も安定した水の供給を行うため、老朽化した施設を更新するとともに、災害に備えた浄水取水場設備の耐震化を図るものです。

令和5年 第1回定例会

那珂市の

こんなことが決まりました

◆会期 17日間 2月28日～3月16日

《傍聴者 95人》

今回提出された議案等は

市長提出案件…28件

請願・陳情…0件

議会提出案件…1件

計29件

提出された議案等とその結果（賛否が分かれた案件はありませんでした。）

議案等番号	議 案 等 名	内 容	結果
報告 2	専決処分について（損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定）	市の過失による事故等に対する損害賠償額の報告。（業務中事故：698,900円）	—
議案 2	那珂市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	不妊治療を受けやすい職場環境整備のため、長期の不妊治療休暇を新設するもの。	可決
議案 3	那珂市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	令和4年人事院勧告に伴い、会計年度任用職員についても正職員の給与改定に準じて給料表を改正するもの。	可決
議案 4	那珂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準において、児童の安全の確保に関する計画の策定等に関する規定を追加するもの。	可決
議案 5	那珂市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準において、児童の安全の確保に関する計画及び業務継続計画の策定に関する規定を追加するもの。	可決
議案 6	那珂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	こども家庭庁が設置されることに伴い、子ども・子育て支援法の改正による条ずれが生じたため、改正を行うものなど。	可決
議案 7	那珂市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例	こども家庭庁が設置されることに伴い、整備法の中で子ども・子育て支援法の改正による条ずれが生じたため、改正を行うもの。	可決
議案 8	那珂市国民健康保険条例の一部を改正する条例	出産育児一時金等の支給額について、令和5年4月から全国一律で50万円に引き上げられることに伴い、条例の一部を改正するもの。	可決
議案 9	那珂市危険物規制事務手数料条例の一部を改正する条例	震災時等における危険物の仮貯蔵・仮取扱い等、安全確保に係る手数料を減免することにより被災者の費用負担を軽減し、より迅速な災害復興を図るため改正するもの。	可決
議案10	令和4年度那珂市一般会計補正予算（第8号）	歳入歳出それぞれ4558万5000円を減額し、総額を236億9467万円とするもの。内容は、各事業における契約額、所要額の確定による事業費の減額など。	可決
議案11	令和4年度那珂市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）	歳入歳出それぞれ2520万6000円を減額し、総額を53億3176万4000円とするもの。内容は、算定額の確定に伴う、一般被保険者医療給付費分、一般被保険者後期高齢者支援金等分及び介護納付金分に係る負担金の減額など。	可決

議案等番号	議 案 等 名	内 容	結 果
議案12	令和4年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第3号）	歳入歳出それぞれ3億114万4000円を増額し、総額を51億234万2000円とするもの。内容は、保険給付費の審査件数の見込増に伴う審査支払手数料の増額など。	可決
議案13	令和4年度那珂市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれ162万4000円を減額し、総額を8億1837万6000円とするもの。内容は、広域連合納付金において、保険基盤安定納付金の確定による負担金の減額。	可決
議案14	令和5年度那珂市一般会計予算	新年度予算。4～5ページを参照。	可決
議案15	令和5年度那珂市国民健康保険特別会計（事業勘定）予算		可決
議案16	令和5年度那珂市公園墓地事業特別会計予算		可決
議案17	令和5年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）予算		可決
議案18	令和5年度那珂市後期高齢者医療特別会計予算		可決
議案19	令和5年度那珂市地方公平委員会特別会計予算		可決
議案20	令和5年度那珂市水道事業会計予算		可決
議案21	令和5年度那珂市下水道事業会計予算		可決
議案22	市道路線の認定について	市道路線9件を認定するもの。	可決
議案23	令和4年度那珂市一般会計補正予算（第9号）	歳入歳出それぞれ444万6000円を増額し、総額を236億9911万6000円とするもの。内容は、個人番号カード交付等事業において、マイナポイント申込期限の延長に伴う事務員派遣料の増額。	可決
議案24	令和5年度那珂市一般会計補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれ2億1896万9000円を増額し、総額を228億3896万9000円とするもの。内容は、国の新型コロナウイルスワクチン接種の実施期間延長に向けた事業費の計上。	可決
議案25	那珂市教育委員会教育長の任命について	教育委員会教育長の大縄久雄氏の任期満了に伴い、同氏を任命するもの。	同意
議案26	那珂市教育委員会委員の任命について	教育委員会委員の欠員及び任期満了に伴い、畠山佳樹氏、山田日出美氏を任命するもの。	同意
議案27	那珂市固定資産評価審査委員会委員の選任について	固定資産評価審査委員会委員の高根薫氏の任期満了に伴い、同氏を選任するもの。	同意
議案28	那珂市政治倫理審査会委員の委嘱について	政治倫理審査会委員の任期満了に伴い、小田部啓文氏、勝山栄氏、佐藤康雄氏、庄司元次郎氏、秋葉泉氏、塚原茂樹氏を委嘱するもの。	同意
発議1	那珂市議会の個人情報の保護に関する条例	那珂市議会として個人情報の適正な取扱いを確保するため、条例を制定するもの。	可決

総務生活常任委員会

◆議案第14号

令和5年度那珂市
一般会計予算

○消防団設置事業

（4309万9000円）

市民の生命・財産を守るため、那珂市消防団が水・火災または地震等の各種災害に迅速・的確に対応できるように、消防団救助能力向上資機材緊急整備事業を活用し、消防団員の装備品を強化するものです。

Q 消防団への高視認性雨衣400着の購入を予定されていますが、この装備品はどのようなものになりますか。

A 高視認性雨衣で反射つきのものになります。

Q 雨が降った際に活動するために着用する雨具というものでしょうか。

A そのとおりです。
全消防団員への配布に

なるのでしょうか。
A 各分団に配布を予定しています。

産業建設常任委員会

◆議案第21号

令和5年度那珂市下水道
事業会計予算

河川・水路等の公共用水域の水質改善と生活環境（衛生面）の向上のため下水道の整備を行うものです。

Q 下水道整備費について、今後はどの地域をどのように整備していくのでしょうか。

A 現在、公共下水道の整備を行っている地区は額田東郷地区、後台西地区、戸地区の3地区です。令和5年度は後台富士山地区も含めるので4地区の整備予定です。額田東郷地区は、令和6年度には整備完了予定です。戸地区は令和5年度完了予定です。

また、後台西地区はエリ

アが広いため、令和7年度まで整備がかかる計画です。後台富士山地区については、令和5年度から整備が始まるので令和8年度までかかる計画です。

Q 浄化槽の設置補助がありますが、補助は増えているのでしょうか。

A 浄化槽設置補助は世界的な情勢があり新規事業は伸び悩みました。また、転換についても昨年度よりも若干落ちていました。やはり物価高の影響で今年度は落ち込んだ状況にあります。

教育厚生常任委員会

◆議案第8号

那珂市国民健康保険条例
の一部を改正する条例

出産育児一時金等の支給額について、社会保障審議会医療保険部会の「議論の整理」において、「出産育児一時金の額は、令和4年度の全施設の出産費用の平

均額の推計等を勘案し、令和5年4月から全国一律で50万円に引き上げるべき」とされたことを踏まえ、健康保険法施行令等の一部を改正する政令が令和5年2月1日に公布されたことに伴い、本条例の一部を改正するものです。なお、本条例は、令和5年4月1日から施行されます。

Q 双子などを出産した場合、出産育児一時金額は2人分支給されますか。

A 出産育児一時金は子ども1人の出産に対する金額になるので、双子を出産した場合は2人分支給されます。



お知らせ

那珂市議会議員

補欠選挙の結果

議員欠員に伴い、令和5年2月5日に執行された那珂市議会議員補欠選挙で寺門 勲氏、遠藤 実氏の2名が当選しました。

寺門議員は総務生活常任委員会委員に、遠藤議員は教育厚生常任委員会委員にそれぞれ選任されました。



遠藤 実 議員



寺門 勲 議員

臨時会

◆会期 1日間 1月24日(火) 《傍聴者 1人》

今回提出された議案等は

市長提出案件：2件

計2件

◆報告第1号

専決処分について（損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定）

市の過失による事故等に対する損害賠償額を報告するものです。

（車両事故10万4971円）
採決の結果、全会一致で承認されました。

◆議案第1号

令和4年度那珂市一般会計補正予算（第7号）

令和4年度那珂市一般会計予算総額に、歳入歳出それぞれ1億762万1000円を増額し、総額を237億4025万5000円とするものです。

採決の結果、全会一致で可決されました。

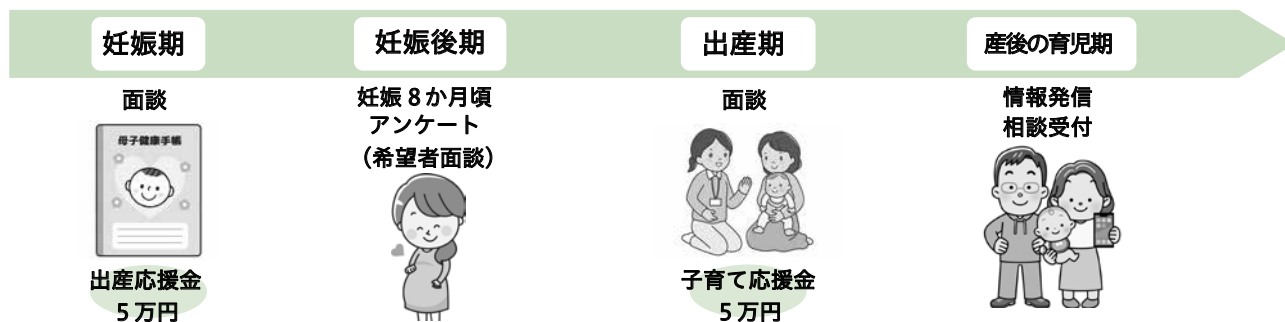
【主な内容】

出産・子育て応援事業
（6288万3000円）

妊娠届出時より妊婦や、特に0歳から2歳までの低年齢期の子育て家庭に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信等を行うとともに、妊娠届出や出産届出を行った妊婦等に対し、「出産・子育て応援給付金」（計10万円）を支給するものです。

本事業は、令和4年4月以降に出産されたかた、または令和4年4月以降に妊娠届出をされたかたを対象に、令和5年2月1日から開始します。

出産・子育て応援事業イメージ図



一般質問

Q & A

《質問者 10名》

※一般質問の記事は、質問した議員が各自で作成しており、内容や表現については各議員の文責において掲載しています。

- P 11 花島 進 議員**
- ◇まちづくり委員会について
 - ◇発泡スチロールごみの収集方法について
 - ◇東海第2原発の再稼働問題について
 - ◇新型コロナウイルス感染症対策について
 - ◇会計年度任用職員制度について

- P 11 武藤 博光 議員**
- ◇学校教育について
 - ◇民俗資料館の今後について
 - ◇中央公民館のバリアフリー推進
 - ◇第二の高速インターについて
 - ◇道路行政について
 - ◇今回実施したペイペイについて

- P 12 大和田和男 議員**
- ◇多様化する教育ニーズの対応について

- P 12 富山 豪 議員**
- ◇活力あるまちづくりについて
 - ◇物価高騰に対する学校教育における支援について

- P 13 寺門 厚 議員**
- ◇地域医療構想について
 - ◇広域避難計画について
 - ◇粗大ごみの回収について

- P 13 遠藤 実 議員**
- ◇防災体制の強化について
 - ◇交通弱者対策の促進について
 - ◇学校における子ども達のマスク着用の運用について
 - ◇選挙の投票率向上策について

- P 14 小池 正夫 議員**
- ◇就農型地域おこし協力隊について
 - ◇子育て支援の拡充について
 - ◇マスク着用について

- P 14 古川 洋一 議員**
- ◇電気料や燃料費高騰の影響について
 - ◇物価高に対する市民生活の支援について
 - ◇相続登記の義務化について

- P 15 原田 陽子 議員**
- ◇アグリビジネスへの取組みについて
 - ◇赤い羽根共同募金について

- P 15 木野 広宣 議員**
- ◇公立小中学校施設のバリアフリー化の加速について
 - ◇障害者手帳について
 - ◇高齢者の補聴器について

東海第2原発の再稼働問題について

東海第2再稼働、市長の考えは？

避難計画の策定と住民の理解が必要



花島 進 議員

Q 国は、原発政策を大転換しようとしています。

岸田首相は既存の原発の運転期間規制の緩和、再稼働の推進などを言うようになりました。

国の原子力委員会がパブリックコメントを求めた「原子力利用に関する基本的考え方」の中では、最近の電力のひっ迫について、あたかも発電設備の不足のように記述し、また安全文化、リスク管理、地域への説明など、実際にはしっかり行っていないことを見ていない記述です。テロ対策については、「万一、原発への弾道ミサイル攻撃があった場合は、自衛隊による多層防衛により対処する」とありますが、守り切れると考えるのは、夢想も甚だしいです。このように、現実を見ない、冷静な分析をしない方々が原子力政策

を推進しようとする中、東海第2周辺の自治体は、再稼働可否に判断が必要になります。那珂市長として考えを聞きます。

A 市長 国は、従来「原子力規制委員会による設置許可の審査が済んだ原子力発電所は再稼働を進める」こととしており、東海第2発電所の再稼働を目指す方針に、今回特に変更があったとは受け取っていません。

これまで答弁しましたように、再稼働については、国の動向や原発の工事スケジュールに左右されることなく、まずは市民の安全を最優先とする広域避難計画の策定を進めていきます。その上で、東海第2発電所の再稼働については、議員をはじめとする住民の理解が得られない限り、認められないと考えています。

民俗資料館の今後について

鈴木家住宅の保存はどうするのか

明確な方針を出す時期に来ている



武藤 博光 議員

Q 額田にある鈴木家住宅について、非常に保存状況が芳しくなく、雨は漏れ、建物は傾くなど地震や風雪の下で老朽化しています

が、どのような状況なのか伺います。

A 教育部長 鈴木家住宅は、茨城県の指定を受けている由緒ある建物で、徳川光圀をはじめとする水戸徳川家との関係性や江戸時代初期の建築様式で大変価値のある文化財です。300年を超える建物で適切な修繕もできず、全体的に損傷が進んでいます。傾き始め、かやぶき屋根から雨漏りが激しく書院造にも被害が出ている状況です。

Q 当家の意向として重要な歴史的遺産であるので市に移管を希望しており、額田地区まちづくり委員会でも要望書を教育委員会に提

出していきたいとのことですが、今後の見通しはいかがですか。

A 教育部長 昨年12月に茨城県に専門家の派遣を依頼して調査を実施しています。所有者からは修繕費の負担や管理、見学者の対応もできかねるという話が出ているので、市として明確な方針を出す時期に来ています。



鈴木家住宅

多様化する教育ニーズの対応について

格差のない部活動の地域移行を

子ども達のことを第一に考える



大和田和男 議員

Q コミセンにも学習スペースを確保してください。

A 市民生活部長 空き部屋の利活用に繋がることから、まず課題の整理をしていきます。

Q 学校におけるジェンダー平等の推進をお願いします。

A 教育部長 水着は各自の判断に任せています。女子のスラックスは準備する段階に至っていません。

Q 特別支援学級に在籍する週の授業時間数が改正により子ども一人当たり1.5倍に増えます。さらなる支援員の確保を要望します。

A 教育部長 対応を進めていますが、今後の状況を見ながら精査します。

Q 部活動の地域移行について、これから地域移行推進委員会を立ち上げるとのことですが、各家庭の経済的格差が子ども達の体験格

差にならない地域移行を進めていくをお願いします。

A 教育長 地域の活動団体や指導者、PTAの関係者など幅広い有識者の方のご意見をお聞きしながら、子ども達にとつて何が最適切か考えていきます。

Q 小規模校について地域に対し課題の可視化と共有をする時期では。また学校適正化プランを策定する時期に入ったと思うのですが。

A 教育長 検討が開始される折には、地域の理解を図りながら方針を確立することが重要だと考えます。

Q 自主財源の確保と学校施設整備等基金など教育予算の拡充とともに教育行政の大きな課題への着手も願います。

A 市長 教育環境整備は重要であり、効果的な予算配分に努めます。

活力あるまちづくりについて

民間投資の誘導策を

幅広い可能性を検討していきたい



富山 豪 議員

Q 農業、商業、工業の各種産業が盛んになることにより市の税収増が図られ、これにより教育、福祉などの予算も充実が可能となり、さらには活力あふれるまちづくりへ向けた次の投資が可能となるような拡大再生産型、高循環型の自治体経営に取り組むことがまちづくりの基本であり、必須条件であると考えます。

そして、産業を活性化させる一つの方策として、財政出動をできるだけ抑え、規制撤廃、緩和を行い、民間投資を誘導し活性化させる手法があると考えます。そこで、市長が掲げる活力あふれるまちづくりの標榜のもと、スピード感を持って積極的に民間投資を呼び込む誘導策を講じていくことが大変重要だと考えます。今までに幾度も質問させていただいている、瓜連地区

の118号の交差点周辺はもとより、那珂市全体への民間投資の誘導策について、市長の見解を伺います。

A 市長 民間の投資が活気づけば市内における雇用の機会が創出され、結果として定住人口の増加も期待ができ、税収の増加につながります。また、スピード感を持って取り組むことでその機会を逃さないことも大切であると考えています。令和5年度に市内への進出意欲のある企業を調査するサウンディング調査を実施します。その結果を踏まえ、より具体的に進出意欲を示した企業にヒアリングを行っていきます。例示していただいた瓜連地域はもとより、那珂インターチェンジ周辺地域を含めた幅広い開発の可能性について検討していきたいと考えています。

粗大ごみの回収について

粗大ごみの戸別回収を実施しては 水戸市など実施自治体を調査予定



寺門 厚 議員

Q 粗大ごみの排出量は年々増えており、不法投棄も続いています。巡回見回りや夜間パトロールなど対策を講じているが治まっていません。不法投棄防止策を種々検討しましたが、最終的には戸別回収が必要であると考えます。障がい者や高齢者の粗大ごみを集積所までの持ち込みが困難、粗大ごみの不法投棄防止、自治会の不法投棄防止対策が負担であること、これらを解決するためにも、粗大ごみの戸別回収を実施していただきたいのですが、いかがですか。

A 市民生活部長 粗大ごみの収集業務は、大宮地方環境整備組合環境センターが行っており、戸別回収実施には本市と常陸大宮市、両市の収集体制整備が必要です。自己負担なく導入す

るのは難しいですが、戸別収集は、障がい者や高齢者、一般の方でも自宅でごみを出せるメリットもありますので、現在実施している水戸市などの状況も含め調査していきます。

Q 水戸市は有償で回収していますので、他自治体も調査され、まずは有償から始めていただきたいです。粗大ごみの無償回収については、今後、自力で排出が困難な高齢者世帯や障がい者世帯等のごみ排出困難者に限定して進めていく必要があります。加えて、それらの方には一般ごみも含め戸別回収を実施していただきたいのですが、いかがですか。

A 市民生活部長 高齢者等のごみ排出困難者への支援は、既に実施している他市町村の状況を今後調査していきます。

選挙の投票率向上策について

スーパ一の敷地内で期日前投票を 令和5年度の市議選で実施する



遠藤 実 議員

Q 昨年12月の県議選の投票率は40%、今年2月の市議補選では32%でした。投票率を上げるため、買い物ついでに投票できるようなスーパーマーケットの敷地内に投票所を設置する、バスで市内各地域を回るような移動投票所を作る、など期日前投票できる場所を増やし、利便性を高めてはいかがですか。

A 選挙管理委員会書記長 そのような場所に投票所を設置することで利便性が高まりますので、令和5年度の市議選においてスーパ一の店舗前の空きスペースに路線バスを利用した移動式期日前投票所を設置する予算を計上しました。

Q 若い方々に政治に関心を持っていただくために、私たち市議会議員を学校教育の現場に活用していただ

き、議員の役割や議会の仕組みなどをお話しさせていただければと考えますが、どうですか。

A 選挙管理委員会書記長 学校と市議会が連携し、生徒が様々な意見に触れることが出来るように工夫することが必要と考えます。



出前授業での模擬投票の様子（那珂高校にて）

子育て支援の拡充について

中学生の給食費の無償化は

現時点で考えていません



小池 正夫 議員

Q 中学生の人数と、1か月あたりの給食費はいくらですか。

A 教育部長 令和4年5月1日時点で、生徒数は1286人です。教育委員会規則上、中学校の給食費は5000円ですが、令和2年度から、市費により月額3000円の補助を実施しており、保護者の負担額は4700円に減額されています。

Q 1か月の給食提供にかかる費用は、1人あたりいくらですか。

A 教育部長 職員人件費、給食センター施設管理事業及び給食センター運営事業の各事業費の合計額と、年間の提供食数から、1か月の所要額を算出すると、1人あたり令和4年度当初ベースで約9000円となっています。

Q 那珂市において子育て

世帯の負担軽減策と新たな子育て支援として、中学校の給食費を無償化することは考えていますか。

A 教育部長 現時点で子育て支援として給食費を無償化することは考えていません。教育費は、直接児童生徒の育成に資するものであることが基本であると認識しています。本市の特色である小中一貫教育をはじめ、デジタル機器を活用したICT教育、特別支援教育のための支援員の配置、安全安心を確保するための施設の整備など、重要性や必要性が高いものを優先しながら計画的に予算を確保しているところです。保護者への経済的支援は、福祉やまちづくりといった分野も関わる、政策的・戦略的な施策の一環であることから、全庁的な課題であるととらえています。

物価高に対する市民生活の支援について

制服やランドセル購入に助成を

継続的に行うには財源確保が必要



古川 洋一 議員

Q 物価高騰の影響を受けた方々に対しての消費の下支えと事業者支援を目的に1月に実施されたキャッシュレス決済ポイント還元事業は、キャッシュレス決済利用者も増え、ポイント還元総額は9000万円超、決済総額も5億円超に達したことから、本事業は概ね成功したとお考えのようですが、決済額は増えたが売上額も伸びたのか、家計に余裕のある方しか恩恵を受けられなかったのではないかと、市外の方も含めた利用者のうち市民にはどれだけ還元できたのか等々、事業の検証結果には多くの疑問があります。市民にお金を使わせる事業だけでなく、大きな有難みを感じられるようなポイントに支援するのも一つのやり方ですので、小中学校入学時のランドセルや制服の購入に対して助成することを提案します。

A 企画部長 制服やランドセルの購入費を補助することについては、単年度で行うものではなく継続的に実施する性格のもので、慎重に検討する必要があります。

Q 他の自治体では国からの交付金を利用したり一般財源で予算を確保している例も多々あります。これは市長が決断すべき重要な施策だと思いますが、いかがでしょうか。

A 市長 将来的な財源確保も必要ですし、生活困窮家庭には就学奨励事業として学校生活に必要な費用の一部を支援している現状から、現時点では難しいですが、新たな財源の確保を図りつつ、子育て支援の新たな提案と受け止めます。

アグリビジネスへの取り組みについて

那珂市産のブランド力アップを ブランド力の強化を図ります



原田 陽子 議員

Q 日本各地で盛んに開催されているマルシェには、生産者がこだわって作った良質で安心安全な農産品や地域ならではの特産品を直接購入できる魅力があります。那珂市では毎月最終土曜日に「いい那珂マルシェ」が開催されていますが、そのコンセプトについてお聞きます。

A 産業部長 本市のアグリビジネス戦略において、生産者同士のつながり、農家と消費者がつながること、で質の高い農畜産物を適切な価格で販売し、農業の収益力向上を目指すことなどをコンセプトとしており、「いい那珂マルシェ」ではそれらを体現した取り組みであると認識しています。

Q 今後、「いい那珂マルシェ」の開催をどのように展開していきますか。

A 産業部長 計画的な生産体制を構築するとともに固定客を増やす取り組みが必要と考え、ECサイトを活用した野菜BOXの予約方法や周知方法などについて検討を進めていく予定です。また、近隣市町村でのマルシェ開催や首都圏への出張マルシェなども活用していきます。

Q 那珂市の代表的な農産物であるかぼちゃのブランド力強化のために取り組んでいることを伺います。

A 産業部長 春作の「那珂かぼちゃ」以外にも秋作かぼちゃの生産量を増加、通年での出荷体制を目指すとともに、かぼちゃの付加価値の向上を図り産地づくりに取り組んでいます。また、かぼちゃを使った新商品の開発等、ブランド力強化を図っていきます。

障害者手帳について

障害者手帳アプリの導入を 利便性の向上を図りたい



木野 広宣 議員

Q 障害者手帳をスマートフォンで代用できるアプリ「ミライロID」があります。手帳の情報画面に表示することで、市の施設やサービス利用料の割引を受けられます。採用している市では、人前で手帳を出すことに抵抗のある方もいるので積極的に活用していた

見込まれる効果は、利用者が手帳を持ち歩く必要がなくなる、自治体ごとに障害者手帳のフォーマットを統一することができるとあります。県内でも導入しているところもあります。が、本市においては検討しているのか伺います。

だきたいとのことです。対象者は障害者手帳（身体障害者・療育・精神障害者保健福祉）をお持ちの方になります。スマホにアプリをダウンロードし、手帳の内容を登録することで利用ができます。1人ひとりに合わせた情報を配信し、必要なサポートの伝達のアシストなど外出時の不安軽減に向けて、施設や店舗（登録されている施設）のバリアフリーなどの情報が掲載されています。導入によって

A 保健福祉部長 障害者手帳アプリ「ミライロID」を活用することで手帳での本人確認が簡素化されるとともに、手帳の提示がスムーズにできることで心理的負担が軽減されます。障がい者における本人確認の簡素化については、国もアプリの有効性を紹介しています。本市も、アプリの活用に向け庁内部署、市内の関連施設などと協議を進め、障がいを持つ当事者の利便性の向上を図りたいと考えています。

閉会中 議会活動レポート

定例会閉会中（12月～2月）の那珂市議会の主な活動をご紹介します

本市の地域包括支援センターは委託で運営していますが、それと異なり市直営で設置・運営をしている常総市と坂東市を2月7日に視察しました。

常総市は、市直営のほか、ランチ（相談窓口）を設置しており、設置の経緯や直営のメリット・デメリット等、質疑応答を交えなが

教育厚生常任委員会 地域包括支援センターについて調査

実施日 令和5年2月7日（火）
視察先 常総市・坂東市

らの説明を受けました。

そして、直営と委託の両方が設置されている坂東市では、直営に関する説明を受けた後で委託先を訪問、事業の様子を見学しました。

今回の視察を踏まえ、さらに具体的な検討を進めるため調査を継続し、市への要望をまとめていきます。



視察の様子（坂東市）

活動日誌

12月

19日 議会広報編集委員会
27日 議会広報編集委員会

1月

12日 議会広報編集委員会◎
17日 産業建設常任委員会勉強会
18日 議会運営委員会◎
19日 教育厚生常任委員会懇談会
20日 全員協議会◎
24日 議会運営委員会
全員協議会
令和5年第1回臨時会
31日 原子力安全対策常任委員会
勉強会

2月

1日 議会ICT推進検討会◎
7日 教育厚生常任委員会視察
10日 新任議会議員研修会
14日 総務生活常任委員会視察
15日 茨城県市議会議長会議員研修会
16日 教育厚生常任委員会
21日 議会運営委員会
全員協議会
議会広報編集委員会
23日 市民の皆さまの声を聴く会
※◎…オンライン形式にて開催

総務生活常任委員会

太陽光発電施設の条例について調査

実施日 令和5年2月14日(火)

視察先 桜川市・石岡市

総務生活常任委員会は、太陽光発電施設の適正な設置及び管理に関する条例制定を施行された、桜川市・石岡市を視察しました。

桜川市では、太陽光発電に係る苦情・相談が急増したことから、拘束力を持たせるために令和3年に条例を施行しました。施行して届出制に変わったことにより、工事に関する情報、時間帯また安全対策など管理に関する情報、防犯対策、緊急連絡体制等細かく計画に定めたことです。また、令和4年度は、クリーンエネルギーを要望する個人・法人に売電するスタイルのNon-FITも伸びているとのこと。FIT制度と違い、パネルの取り換えが自由にでき、廃棄



視察の様子（石岡市）

積み立てを厳格化していないため、市でも放置されないよう検討をしているとのことでした。

石岡市では、事業者と地域住民との合意形成ができることが大事、また条例制定により指導内容が明確になり苦情が少なくなったとのことでした。今後も委員会として調査していきます。

原子力安全対策常任委員会

市民の皆さまの声を聴く会を開催

実施日 令和5年2月23日(木)

場所 ふれあいセンターよこぼり

ふれあいセンターよしの

2月23日に、東海第二発電所の再稼働について「市民の皆さまの声を聴く会」を市内2か所で開催し、25名の参加がありました。

再稼働に賛成と思われる意見として、新規制では原子力安全は確保されている、エネルギーの安定供給を期待する、那珂市内でも原発に係る生活している人が多数いるので共存しなければならぬなどの声がありました。

一方、反対と思われる意見として、ウクライナ戦争で原発の危険性が確認された、災害多発国の日本には原発は不適当、直下型地震で東海第二発電の老朽原発が保つとは思えない、原発ができる前から住んでいる



市民の皆さまの声を聴く会の様子

私たちが避難するのか、などが出されました。

さらに、市議会や市への意見として、住民投票や市民アンケートを実施してほしいなどの要望がありました。

まずは委員会として、11月の原子力防災訓練に参加した市民の方と意見交換会を開催する予定です。



まちかど

ニュース

静峰ふるさと公園雪まつり

令和5年2月25日(土)
静峰ふるさと公園にて

次回6月定例会

日	月	火	水	木	金	土
5/28	29	30	31	6/1	2	3
	本会議 (議案上程など)		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)		
4	5	6	7	8	9	10
		総務生活 常任委員会	産業建設 常任委員会	教育厚生 常任委員会	原子力安全対策 常任委員会	
11	12	13	14	15	16	17
				議会運営委員会 全員協議会	本会議 (委員長報告、 議案等採決)	
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	7/1

※会議は、原則として午前10時開会です。

令和5年第2回定例会：5月29日～6月16日

令和5年第2回（6月）定例会の日程(案)は左のとおりです。

会議は原則公開となっています。所定の用紙にご記入いただくだけで、どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。

また、請願・陳情を議会へ提出される場合は、5月19日(金)17時までに、議会事務局までご提出ください。

議会映像を公開しています

那珂市議会では定例会、臨時会の本会議の映像を「YouTube」の動画サイトで公開しています。詳しくは、那珂市ホームページの「那珂市議会」のページをご覧ください。

那珂市議会

検 索

(「那珂市議会」のページ内の「議会中継」から「YouTube」を開くことができます。)



編集後記

東日本大震災から12年という歳月が過ぎましたが、心の傷が癒えたわけではありません。震災の影響はいまだ現在進行形です。大事なのは、心の復興ではないでしょうか。

那珂市議会では、2月に発生したトルコ・シリア大地震で被災された方に、私たちの経験した悲しみを二度と繰り返さないとの思いで、18名全議員が義援金をトルコ大使館に贈りました。
(木野 広宣)

議会広報編集委員会

委員長 原田 陽子
副委員長 石川 義光
委員 小池 正夫
委員 大和田和男
委員 木野 広宣
委員 武藤 博光